
AMI を利用した Nextcloud 環境構築手順

株式会社スタイルズ
2020/11/27

操作手順①

AWS マネジメントコンソールで EC2 メニューを表示します。
東京リージョンに構築するため、あらかじめ「アジアパシフィック（東京）」に切り替えます。

The screenshot shows the AWS Management Console interface. The top navigation bar includes the AWS logo, a search bar, and a dropdown menu for the region, which is currently set to "バージニア北部" (us-east-1). The left sidebar contains the "EC2 ダッシュボード" (EC2 Dashboard) and various navigation links. The main content area displays the "リソース" (Resources) section for EC2, showing a summary of resources in the "米国東部 (バージニア北部)" region. A dropdown menu is open, showing a list of regions. The region "アジアパシフィック (東京)" (ap-northeast-1) is highlighted with a red box. The bottom of the console shows the footer with copyright information and links to the privacy policy and terms of service.

aws サービス リソースグループ

New EC2 Experience
Tell us what you think

EC2 ダッシュボード New

イベント New

タグ

レポート

制限

▼ インスタンス

インスタンス

インスタンスタイプ

起動テンプレート

スポットリクエスト

Savings Plans

リザーブドインスタンス

専有ホスト New

スケジュールされたインスタンス

キャパシティの予約

▼ イメージ

AMI

バンドルタスク

▼ ELASTIC BLOCK STORE

ボリューム

スナップショット

ライフサイクルマネージャー

▼ ネットワーク & セキュリティ

EC2

リソース

米国東部 (バージニア北部) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用

リソース	数	アクション
実行中のインスタンス	0	Elastic IP
専有ホスト	0	スナップショット
ボリューム	2	ロードバランサー
キーペア	1	セキュリティグループ
プレースメントグループ	0	

① AWS Launch Wizard for SQL Server を使用すると、Microsoft SQL Server のインストール、設定、デプロイを簡単に行うことができます。

インスタンスを起動

開始するには、クラウド内の仮想サーバーである Amazon EC2 インスタンスを起動します。

インスタンスを起動

注意: インスタンスは 米国東部 (バージニア北部) リージョンで起動されます。

予定されているイベント

米国東部 (バージニア北部) us-east-1

米国東部 (オハイオ) us-east-2

米国西部 (北カリフォルニア) us-west-1

米国西部 (オレゴン) us-west-2

アフリカ (ケープタウン) af-south-1

アジアパシフィック (香港) ap-east-1

アジアパシフィック (ムンバイ) ap-south-1

アジアパシフィック (ソウル) ap-northeast-2

アジアパシフィック (シンガポール) ap-southeast-1

アジアパシフィック (シドニー) ap-southeast-2

アジアパシフィック (東京) ap-northeast-1

カナダ (中部) ca-central-1

欧州 (フランクフルト) eu-central-1

欧州 (アイルランド) eu-west-1

欧州 (ロンドン) eu-west-2

欧州 (ミラノ) eu-south-1

欧州 (パリ) eu-west-3

欧州 (ストックホルム) eu-north-1

中東 (バーレーン) me-south-1

南米 (サンパウロ) sa-east-1

フィードバック 日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

操作手順②

「インスタンスを起動」をクリックします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for the EC2 service. The left sidebar contains navigation links for various AWS services, with 'EC2' selected. The main content area displays the 'EC2' dashboard, which includes a 'Resources' section showing usage statistics for various EC2 resources. Below this, the 'Instances' section is highlighted with a red box, and the 'Start Instance' button is visible. The 'Start Instance' button is labeled 'インスタンスを起動' and is located within a section titled 'インスタンスを起動'.

リソース

リソース	数
実行中のインスタンス	4
Elastic IP	8
専用ホスト	0
スナップショット	45
ボリューム	12
ロードバランサー	0
キーペア	5
セキュリティグループ	31
プレースメントグループ	0

アカウントの属性

- サポートされているプラットフォーム [VPC](#)
- デフォルト VPC [vpc-c6f0daa1](#)
- 設定
- EBS 暗号化
- ゾーン
- コンソールの実験

追加情報

- 入門ガイド
- ドキュメント
- すべての EC2 リソース
- フォーラム
- 料金
- お問い合わせ

インスタンスを起動

開始するには、クラウド内の仮想サーバーである Amazon EC2 インスタンスを起動します。

インスタンスを起動 ▲

インスタンスを起動

テンプレートからインスタンスを起動する

リージョンで起動されます

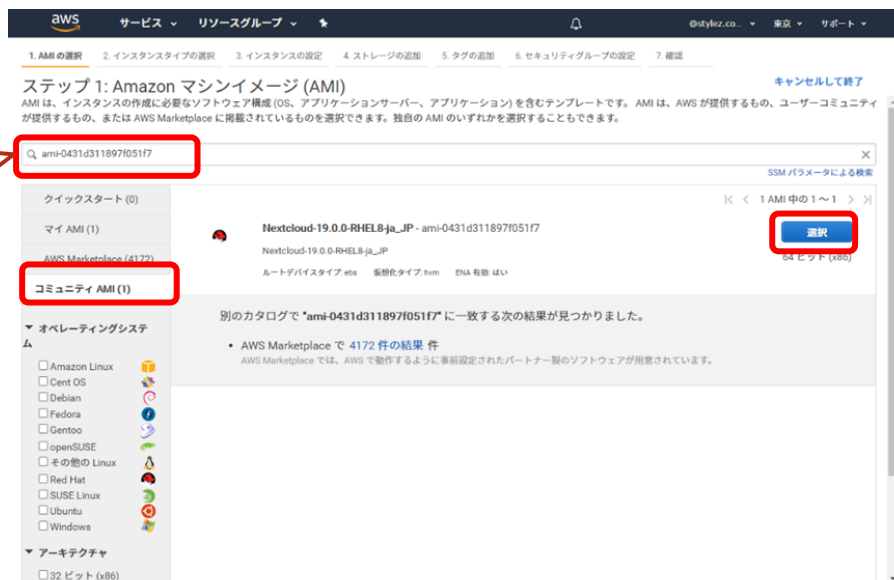
予定されているイベント

操作手順③

Nextcloud を構築するための AMI を探して「選択」をクリックします。

Nextcloud バージョン	利用 OS	AMI ID
Nextcloud 20.0.2	RedHat Enterprise Linux 8	ami-0b8c6fbe62fa896f9
	RedHat Enterprise Linux 7	ami-0e56bf237f78104ba
Nextcloud 19.0.4	RedHat Enterprise Linux 8	ami-08e96538941742653
	RedHat Enterprise Linux 7	ami-051d68276e32ff611

対象のAMI
IDを入力



操作手順④

インスタンスタイプは「 t2.micro 」を選択して「次のステップ: インスタンスの詳細の設定」をクリックします。 ※メモリ (GiB) が 1 以上のものを選択してください。

aws

サービス

リソースグループ

東京

サポート

1. AMI の選択

2. インスタンスタイプの選択

3. インスタンスの設定

4. ストレージの追加

5. タグの追加

6. セキュリティグループの設定

7. 確認

ステップ 2: インスタンスタイプの選択

Amazon EC2 では、異なるユースケースに合わせて最適化されたさまざまなインスタンスタイプが用意されています。インスタンスとは、アプリケーションを実行できる仮想サーバーです。インスタンスタイプはさまざまな CPU、メモリ、ストレージ、ネットワークキャパシティの組み合わせによって構成されているため、使用するアプリケーションに合わせて適切なリソースの組み合わせを柔軟に選択できます。インスタンスタイプおよびそれをコンピューティングのニーズに適用する方法に関する [詳細はこちら](#)。

フィルター条件: すべてのインスタンスタイプ 現行世代 列の表示/非表示

現在選択中: t2.micro (可変 ECU, 1 vCPU, 2.5 GHz, Intel Xeon Family, 1 GiB メモリ, EBS のみ)

	ファミリー	タイプ	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス	IPv6 サポート
☐	汎用	t2.nano	1	0.5	EBS のみ	-	低から中	はい
☒	汎用	t2.micro 無料利用枠の対象	1	1	EBS のみ	-	低から中	はい
☐	汎用	t2.small	1	2	EBS のみ	-	低から中	はい
☐	汎用	t2.medium	2	4	EBS のみ	-	低から中	はい
☐	汎用	t2.large	2	8	EBS のみ	-	低から中	はい
☐	汎用	t2.xlarge	4	16	EBS のみ	-	中	はい
☐	汎用	t2.2xlarge	8	32	EBS のみ	-	中	はい
☐	汎用	t3a.nano	2	0.5	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
☐	汎用	t3a.micro	2	1	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
☐	汎用	t3a.small	2	2	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
☐	汎用	t3a.medium	2	4	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい

キャンセル

戻る

確認と作成

次のステップ: インスタンスの詳細の設定

フィードバック

日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。

プライバシーポリシー

利用規約

操作手順⑤

「次のステップ: ストレージの追加」をクリックします。

※必要に応じて構築先のネットワークを選択してください。選択の際は「パブリックサブネット」を選択してください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for configuring an EC2 instance. The top navigation bar includes the AWS logo, service links, resource groups, and a search bar. The main content area is titled 'ステップ 3: インスタンスの詳細の設定' (Step 3: Instance Details Configuration). Below the title, there is a brief description of the step. The configuration is organized into several sections, each with a list of settings and their current values. At the bottom right, a red box highlights the '次のステップ: ストレージの追加' (Next Step: Add Storage) button.

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの詳細の設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 3: インスタンスの詳細の設定

要件に合わせてインスタンスを設定します。同じ AMI からの複数インスタンス作成や、より低料金を実現するためのスポットインスタンスのリクエスト、インスタンスへのアクセス管理ロール割り当てなどを行うことができます。

インスタンス数 ① 1 Auto Scaling グループに作成する ①

購入のオプション ① ☐ スポットインスタンスのリクエスト

ネットワーク ① vpc-c6f0daa1 (デフォルト) ④ 新しい VPC の作成

サブネット ① 優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルト) ④ 新しいサブネットの作成

自動割り当てパブリック IP ① サブネット設定を使用 (有効) ④

配置グループ ① ☐ インスタンスをプレースメントグループに追加します。

キャパシティの予約 ① 開く ④ 新しいキャパシティ予約の作成

IAM ロール ① なし ④ 新しい IAM ロールの作成

シャットダウン動作 ① 停止 ④

停止 - 休止動作 ① ☐ 停止動作に休止動作を追加する

終了保護の有効化 ① ☐ 誤った終了を防止します

モニタリング ① ☐ CloudWatch 詳細モニタリングを有効化
追加料金が適用されます。

テナンシー ① 共有 - 共有ハードウェアインスタンスの実行 ④
Additional charges may apply when launching Dedicated instances.

Elastic Inference ① ☐ Elastic Inference アクセラレーターを追加
追加料金が適用されます。

キャンセル 戻る 確認と作成 次のステップ: ストレージの追加

フィードバック 日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

操作手順⑥

「次のステップ: タグの追加」をクリックします。

- ◆ OS や Nextcloud の領域として約 4GiB が確保され、残りが Nextcloud のファイル保管領域となります。必要に応じてストレージサイズを「サイズ (GiB)」の入力欄に入力して大きくすることができます。
※ストレージサイズはデフォルトで 20GiB が設定され、これより小さくすることはできません。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for configuring an EC2 instance. The navigation bar at the top includes the AWS logo, service dropdowns, and a search bar. The breadcrumb trail indicates the current step is '4. ストレージの追加' (Add Storage). The main heading is 'ステップ 4: ストレージの追加' (Step 4: Add Storage). Below this, a paragraph explains that the instance is created using the specified storage device settings and that EBS volumes or instance store volumes can be attached. A table lists the storage configuration details: Volume Type (gp2), Device (/dev/sda1), Snapshot (snap-0304e33d26ebfed12), Size (20 GiB), Volume Type (gp2), IOPS (100 / 3000), Throughput (None), and Encryption (Enabled). A red dashed box highlights the '20' in the Size field. Below the table, there is a button '新しいボリュームの追加' (Add new volume) and a note about the free tier limit of 30 GB. At the bottom right, the '次のステップ: タグの追加' (Next Step: Add Tags) button is highlighted with a red dashed box.

ボリュームタイプ	デバイス	スナップショット	サイズ (GiB)	ボリュームタイプ	IOPS	スループット (MB/秒)	終了時に削除	暗号化
gp2	/dev/sda1	snap-0304e33d26ebfed12	20	gp2	100 / 3000	該当なし	☒	暗号化

新しいボリュームの追加

無料利用枠の対象であるお客様は 30 GB までの EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックストレージを取得できます。無料利用枠の対象と使用制限に関する [詳細はこちら](#)。

キャンセル 戻る 確認と作成 次のステップ: タグの追加

操作手順⑦

「次のステップ: セキュリティグループの設定」をクリックします。
※タグは必要に応じて適宜設定してください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for creating an EC2 instance. The top navigation bar includes the AWS logo, service and resource group dropdowns, a search bar, and regional/support links. The breadcrumb trail indicates the current step is '5. タグの追加' (Add Tags). The main content area is titled 'ステップ 5: タグの追加' (Step 5: Add Tags) and provides instructions on how to use tags. Below the instructions is a table for adding tags:

キー (最大 128 文字)	値 (最大 256 文字)	インスタンス i	ボリューム i
Name	Nextcloud-19.0.0	☒	☒

Below the table is a button '別のタグを追加 (最大 50 個のタグ)' (Add another tag (maximum 50 tags)). At the bottom right, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '戻る' (Back), '確認と作成' (Review and Create), and '次のステップ: セキュリティグループの設定' (Next Step: Configure Security Groups). The last button is highlighted with a red rectangle.

At the bottom of the console, there is a footer with 'フィードバック' (Feedback), '日本語' (Japanese), and copyright information: '© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。' (All rights reserved. Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, without the prior written permission of Amazon Web Services, Inc.)

操作手順⑧

“HTTP”, “SSH” を追加、「ソース：マイ IP」を選択し「確認と作成」をクリックします。

※モバイル端末からのアクセス等アクセス元を特定せずに確認する場合は、「HTTP」の「ソース」を「任意の場所」にします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for creating a new EC2 instance. The 'Security Groups' step is active, showing a table of rules. The 'SSH' and 'HTTP' rules are highlighted with a red box. The '確認と作成' button is also highlighted with a red box.

aws サービス リソースグループ

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 6: セキュリティグループの設定

セキュリティグループは、インスタンスのトラフィックを制御するファイアウォールのルールセットです。このページで、特定のトラフィックに対してインスタンスへの到達を許可するルールを追加できます。たとえば、ウェブサーバーをセットアップして、インターネットトラフィックにインスタンスへの到達を許可する場合、HTTP および HTTPS ポートに無制限のアクセス権限を与えます。新しいセキュリティグループを作成するか、次の既存のセキュリティグループから選択することができます。Amazon EC2 セキュリティグループに関する [詳細はこちら](#)。

セキュリティグループの割り当て: ☒ 新しいセキュリティグループを作成する
☐ 既存のセキュリティグループを選択する

セキュリティグループ名: launch-wizard-9
説明: launch-wizard-9 created 2020-06-05T13:10:26.739+09:00

タイプ	プロトコル	ポート範囲	ソース	説明
SSH	TCP	22	マイ IP	例: SSH for Admin Desktop
HTTP	TCP	80	マイ IP	例: SSH for Admin Desktop

ルールの追加

キャンセル 戻る **確認と作成**

フィードバック 日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

操作手順⑨

設定内容を確認して「起動」をクリックします。

aws

サービス

リソースグループ

東京

サポート

1. AMI の選択

2. インスタンスタイプの選択

3. インスタンスの設定

4. ストレージの追加

5. タグの追加

6. セキュリティグループの設定

7. 確認

ステップ 7: インスタンス作成の確認

インスタンスの作成に関する詳細を確認してください。各セクションの変更に戻ることができます。[作成] をクリックして、インスタンスにキーペアを割り当て、作成処理を完了します。

AMI の詳細

AMI の編集

Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja_JP - ami-0431d311897f051f7

Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja_JP

ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

インスタンスタイプ

インスタンスタイプの編集

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンス ストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス
t2.micro	可変	1	1	EBS のみ	-	Low to Moderate

セキュリティグループ

セキュリティグループの編集

セキュリティグループ名

launch-wizard-9

説明

launch-wizard-9 created 2020-06-05T13:10:26.739+09:00

タイプ ⓘ	プロトコル ⓘ	ポート範囲 ⓘ	ソース ⓘ	説明 ⓘ
SSH	TCP	22		
HTTP	TCP	80		

インスタンスの詳細

インスタンスの詳細の編集

ストレージ

ストレージの編集

タグ

タグの編集

キャンセル

戻る

起動

操作手順⑩

SSH 接続を行うためのキーペアを作成します。キーペア名を入力して「キーペアのダウンロード」をクリックします。 ※ダウンロードしたファイルは絶対に紛失しないように気を付けてください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for creating an instance. The 'Create Instance' wizard is at Step 7: Confirmation. A modal dialog is open, titled '既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。' (Select an existing key pair or create a new one). The dialog explains that a key pair consists of a public key saved by AWS and a private key file saved by the user. It notes that for Windows AMIs, the private key file is used as a password, and for Linux AMIs, it's used for SSH. A note states that the selected key pair will be added to the instance's permissions. The '新しいキーペアの作成' (Create new key pair) option is selected in the dropdown. The key pair name 'aws-nextcloud-test' is entered in the text field. The 'キーペアのダウンロード' (Download key pair) button is highlighted with a red box. A warning message at the bottom of the dialog states: '続行するには、事前にプライベートキーファイル(*.pem ファイル)をダウンロードする必要があります。それを、安全でアクセス可能な場所に保存します。一度作成されたファイルは再度ダウンロードすることはできません。' (To continue, you must first download the private key file (*.pem file). Save it in a secure, accessible location. Once created, the file cannot be downloaded again.) The 'インスタンスの作成' (Create instance) button is visible at the bottom right of the dialog.

操作手順⑪

「インスタンスの作成」ボタンが有効になりますのでこれをクリックします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface during the instance creation process. The top navigation bar includes the AWS logo, service and resource group dropdowns, a search bar, and regional settings (Tokyo). The main content area is titled 'ステップ 7: インスタンス作成の確認' (Step 7: Instance Creation Confirmation). Below the title, there's a progress bar with steps 1 through 7, where step 7 is currently active. The left sidebar lists various configuration options like AMI details, Instance type, Security groups, and Instance details. The right sidebar shows links to edit various components. A central modal dialog is open, asking '既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。' (Select an existing key pair or create a new one). The dialog explains that a key pair is needed for secure connection and provides instructions on how to create one. It includes a dropdown for '新しいキーペアの作成' (Create new key pair), a text input for 'キーペア名' (Key pair name) with the value 'aws-nextcloud-test', and a 'キーペアのダウンロード' (Download key pair) button. A blue information box at the bottom of the dialog states that the user must download a private key file (.pem) before proceeding and that it can only be downloaded once. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'インスタンスの作成' (Create instance), with the latter being highlighted by a red rectangle.

操作手順⑫

赤枠部分のリンクをクリックします。

 サービス ▾ リソースグループ ▾ ★  東京 ▾ サポート ▾

作成ステータス

 インスタンスは現在作成中です
次のインスタンスの作成が開始されました。  [作成ログの表示](#)

 予想請求額の通知を受け取る
請求アラートの作成 AWS 請求書の予想請求額が設定した金額を超えた場合 (つまり、無料利用枠を超えた場合)、メール通知を受け取ります。

インスタンスへの接続方法

インスタンスは作成中です。実行中状態になり、使用する準備ができるまでに数分かかることがあります。新しいインスタンスの使用時間は、すぐに始まり、インスタンスを停止または終了するまで継続します。

[インスタンスの表示] をクリックして、インスタンスのステータスを監視します。インスタンスが一度実行中状態になれば、[インスタンス] 画面からインスタンスに接続できます。インスタンスへの接続方法を [詳細はこちら](#)。

▼ ここには、作業を始めるのに役立つリソースがあります

- Linux インスタンスへの接続方法
- AWS 無料利用枠の詳細

- Amazon EC2: ユーザーガイド
- Amazon EC2: ディスカッションフォーラム

インスタンスの作成中、次のことも行うことができます

- ステータスチェックアラームの作成 これらのインスタンスがステータスチェックに合格しなかったときは通知が送信されます。(追加料金が適用される場合があります)
- 追加の EBS ボリュームを作成してアタッチする (追加料金が適用される場合があります)
- セキュリティグループの管理

インスタンスの表示

 フィードバック  日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 [プライバシーポリシー](#) [利用規約](#)

操作手順⑬

パブリック DNS (IPv4) にマウスカーソルをあて表示されるアイコンをクリックします。「パブリック DNS (IPv4)」の内容がクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the AWS Management Console interface. On the left is the navigation menu with categories like EC2 Dashboard, Events, Tags, Reports, Limits, Instances, Images, ELASTIC BLOCK STORE, and Network & Security. The main area displays the details of an EC2 instance named 'Nextcloud-19.0.0'. The instance is in the 'running' state, using the 't2.micro' instance type in the 'ap-northeast-1' region. The 'Public DNS (IPv4)' field is highlighted with a red box, and a tooltip indicates that clicking the icon will copy the address to the clipboard.

インスタンス ID	パブリック DNS (IPv4)
ec2-██████████	ec2-██████████.1.compute.amazonaws.com

インスタンスの状態: running
インスタンスタイプ: t2.micro
検索中: 推奨事項については、AWS Compute Optimizer に最適化してください。詳細はこちら

プライベート DNS: ip-██████████.ap-northeast-1.compute.internal
プライベート IP: ██████████

セカンダリプライベート IP: -
VPC ID: vpc-██████████
サブネット ID: subnet-██████████
ネットワークインターフェイス: eth0
IAM ロール: -
キーペア名: aws-nextcloud-test

アベイラビリティゾーン: ap-northeast-1c
セキュリティグループ: launch-wizard-9. インバウンドルールの表示。アウトバウンドルールの表示
予定されているイベント: 予定されているイベントはありません
AMI ID: Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja_JP (ami-0431d311897f051f7)
Platform details: Red Hat Enterprise Linux
Usage operation: RunInstances:0010
送信元/送信先チェック: True
T2/T3 無制限: 無効

操作手順⑭

ブラウザで URL “http://(コピーしたパブリック DNS)” にアクセスします。
吹き出しの説明のとおり設定をして「セットアップを完了します」をクリックします。

The screenshot shows the Nextcloud installation interface. At the top is the Nextcloud logo. Below it, the text '管理者アカウントを作成してください' (Please create an administrator account) is displayed. There are two input fields: the first contains 'admin' and the second contains a masked password '.....'. To the right of these fields are two red callout boxes. The first callout box points to the 'admin' field and contains the text '作成する管理者アカウントのユーザー名' (Administrator account name to be created). The second callout box points to the password field and contains the text '作成する管理者アカウントのパスワード' (Administrator account password to be created). Below the input fields is a section titled 'ストレージとデータベース' (Storage and Database). Under this section is a 'パフォーマンス警告' (Performance Warning) box. The warning text states: 'あなたはSQLiteをデータベースとして選択しました。SQLiteは小規模もしくは開発用のインスタンスでのみ利用できます。プロダクション環境では他のデータベースをお勧めします。ファイルの同期にクライアントを使用している場合、SQLiteの使用はお勧めできません。' (You have selected SQLite as the database. SQLite can only be used in small-scale or development instances. We recommend other databases for production environments. If you are using a client for file synchronization, we do not recommend using SQLite). Below the warning box is a checkbox labeled '推奨アプリをインストール' (Install recommended apps) with the subtext 'Calendar, Contacts, Talk, Mail & Collaborative editing'. A red callout box points to this checkbox with the text 'チェックを外す' (Uncheck). At the bottom of the screen is a large button labeled 'セットアップを完了します' (Finish setup).

管理者アカウントを作成してください

admin

.....

作成する管理者アカウントのユーザー名

作成する管理者アカウントのパスワード

ストレージとデータベース

パフォーマンス警告

あなたはSQLiteをデータベースとして選択しました。
SQLiteは小規模もしくは開発用のインスタンスでのみ利用できます。プロダクション環境では他のデータベースをお勧めします。
ファイルの同期にクライアントを使用している場合、SQLiteの使用はお勧めできません。

チェックを外す

☐ 推奨アプリをインストール
Calendar, Contacts, Talk, Mail & Collaborative editing

セットアップを完了します

操作手順⑮

この画面が表示されるとセットアップ完了です。
右上の「×」をクリックすると利用開始することができます。

